



学校法人
神奈川大学



学校

700

ユーザー



学校・教育



パッケージ版

導入時期	2013年	職員数	1,943名(2014年9月現在)	設立	1928年	所在地	神奈川県横浜市
事業内容	1928年、創立者米田吉盛が勤労者のための教育施設として横浜学院を創設。1949年四年制の神奈川大学として設立される。大学・大学院に7学部・9研究科があり、附属中・高等学校を含め学生生徒数約2万人、卒業生約21万人を輩出する全国有数の総合大学。創立100周年に向け「神奈川大学将来構想」を策定し、その実現にむけて「中期実行計画」を推進している。						
URL	http://www.kanagawa-u.ac.jp/						

「3つのキャンパスの設備予約と全ユーザーの予定を一括管理。」

学校法人 神奈川大学様は、最新の教育設備が整備された、横浜、湘南ひらつか、中山（附属中・高等学校）の3つのキャンパスに合計約2万人の学生生徒が学ぶ総合大学です。それぞれ広大な敷地を有し、あわせて30以上の校舎がある同校では、離れたキャンパスを相互にむすび、全ユーザーのスケジュール管理や会議室の予約管理を効率化するために2004年よりdesknet's NEOを活用してきました。700ユーザーの情報管理を効率化した学校法人 神奈川大学様の事例をご紹介します。

この事例の
ポイント

- 1 分散するキャンパスのスケジュール&設備管理にdesknet'sを採用
- 2 長年の活用を経て2014年、desknet's NEOへ移行
- 3 利用機能を絞り込んでdesknet's NEOの活用度を深める
- 4 desknet's NEOで使いやすさを実感。さらなる進化に期待

ご利用中のお客様の声

分散するキャンパスのスケジュール & 設備管理に旧desknet'sを採用

— 旧 desknet's の頃からご利用いた
だいてきました。

旧 desknet's のスタンダード版を採用したのが 2004 年ですから、かれこれ 10 年になりますね。3 カ所に分かれたキャンパスに 30 カ所以上の校舎が点在する本学には、会議室などの利用管理や全職員のスケジュール調整を効率良く行えるシステムが必要でした。

かつては大手電機メーカーのシステムを利用していましたが、サーバー更新を機により使いやすいシステムの必要性を感じ、リプレースを検討しました。最も重視していた会議室予約で特定のユーザーグループのアクセス権管理等がしやすいことや、コストパフォーマンス、各種機能の使いやすさなどを評価して、複数の製品の中から採用したのが旧 desknet's だったのです。

長年の活用を経て 2014 年、 desknet's NEO へ移行

— 2014 年 desknet's NEO へ移行
していただきました。

旧 desknet's の機能は使いやすく、利用も定着しており、製品への不満の声もありませんでした。ユーザーの中には 1 年先のスケジュールまで予定を管理しているケースもあり、他製品へのリプレースなどは考えず自然な流れで desknet's NEO への移行を決定しました。

スタンダード版のころはサーバーのロ



情報システム推進部
情報システム課
課長補佐
高橋ゆかり 様



情報システム推進部
情報システム課
中村真治 様



情報システム推進部
情報システム課
小杉洋平 様

ケーションから利用範囲を学内に限定していたのですが、「desknet's をモバイルでも活用したい」という要望が一部の熱心なユーザーからあがっていました。desknet's NEO はタブレットやスマートフォンとの親和性も高く、モバイルでの使いやすさも向上していましたので、移行を機に学外からも desknet's NEO にアクセスできるようにしました。

— desknet's NEO 移行の際、ご苦労
なされた点はありましたか？

まずはマニュアルや問い合わせで構築計画を立て、移行説明会に参加し何通りの移行手法について事前説明を受けました。今回は新しいサーバーに旧 desknet's のフルバックアップデータを入れて、新サーバー内でコンバートする手法をとりましたが、コンバージョンツールによる移行作業に手間取ることはありませんでした。旧 desknet's はフォルダを丸ごとコピーすればバックアップが取れるシンプルな構造なので作業も楽で、データの移行は 1 時間程度で完了しました。

利用機能を絞り込んで desknet's NEO の活用度を深める

— 利用機能を意識的に絞り込んで
ご活用いただいているようです。

3 つに分かれているキャンパスの会議室などの予約管理とスケジュール共有が

活用の主目的ですので [スケジュール] [設備予約] がフル活用されれば導入目的を達成できていると考えています。「機能を絞り込んでより深く活用する」という考え方ですね。実際にアクセス数を集計すると利用数のほとんどが 2 機能に集中しています。とはいえ、ユーザーや各部署内では使いたい機能を自発的に使っているケースはありますし、そこは自由に活用して欲しいと思っています。たとえば desknet's NEO に新たに追加された [ネオツイ] などもユーザーが自然に使いはじめています。

desknet's NEO で使いやすさを 実感。さらなる進化に期待

— desknet's NEO への移行で大きな
変化はございましたか？

全般的な操作性はかなり高まったと実感しています。予約を入れる際にもクリック総数が以前より少なくて済み、より早く入力できるようになりました。インターフェースの改善と同時に各種機能の反応も良く快適になりましたね。利用の中心となる [設備予約] も、空き状況検索やグループ分けの機能が充実しています。desknet's NEO からモバイルデバイスの活用が始まりましたので、便利さを実感しているユーザーは多いです。今後も進化を止めずに「使いやすさ」を追求して欲しいですね。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

一部上職者を除く全ユーザーの予定を公開。専属のマネジメント担当者がある副学長も、予定が入った場合は自らスケジュールを入力するなど積極的な利用が定着。最も利用度が高い機能。

設備予約

導入のきっかけとなった主要機能で [スケジュール] と並ぶ主要機能。権限設定で一部のユーザーだけが管理できる会議室を設置したり、階層構造で部署ごとの管理を行うなど、設備管理の効率化がさらに進んでいる。会議室の管理をメインに、公用車 3 台、プロジェクター、テレビ会議システム (会議室と同時に予約) などの運用管理にフル活用している。

インフォメーション

学内行事の告知に活用。同様の機能を持つ他のシステムと同じ情報を掲載し、職員の見落としを予防している。

利用者名簿

メールアドレス、内線番号を管理。検索のしやすさがユーザーに好評で、日常業務において頻繁に活用されている。

ネオツイ

一部のユーザーが自発的に利用している。〈つぶやき〉は気軽な内容が多いが、〈ダイレクトメッセージ〉は、desknet's NEO の利用上の疑問や問い合わせに活用されることもある。

回覧・レポート

情報システム部の利用が中心。閲覧資料を添えた告知などに利用。

その他

[スケジュール] [キャビネット] [設備予約] [利用者名簿] [アドレス帳] を活用。



▲ 神奈川大学様ご利用中の「ログイン」画面